

復興支援フォーラムニュース No.24

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫(tkonno67@gmail.com) 中井勝己(024-548-8313)>
=====

原災地域復興グランドデザイン考 ～福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの活動から～ 山川充夫 (福島大学)

1. 東日本大震災とは
2. 原災地域避難民の行動
3. 避難・仮設住宅生活
4. 復旧・復興へビジョンと計画
5. ふるさと帰還支援:うつくしまふくしま未来支援センターの活動から

第1ステップ 放射能汚染詳細マップ作成

第2ステップ 生活インフラの再構築

第3ステップ 人間共同性の紐帯ケア

第4ステップ 持続可能生活を保障する雇用創出

6. 震災・原災復興7原則

- ①安全・安心・信頼を再構築する原則
- ②被災者・避難者の未来を支援する原則
- ③地域アイデンティティ再生の原則
- ④共同・協同・協働の原則
- ⑤再生まちづくりの原則
- ⑥脱原発・脱石油エネルギーの原則
- ⑦産業グリーン化の原則

第21回フォーラム（「原発廃炉に向けた法的課題」／広田次男氏）のご意見等（10月11日）

- ★私たち県民は、3.11大震災・原発事故の被災時に戻る必要があるのではないかと思う。(R.N)
- ★廃炉訴訟は、福島県民の怒りを示すのに、県民世論を高め行政訴訟が実効性があると思います。右とか左とかではなく、人間としての使命だと思います。始末できない使用済核燃料を出し続ける原発は、存在すべきではないと思うのが、普通の一般市民の感情です。福島県民の運動賛成です。(S.0)
- ★事の本質がよく分かりました（廃炉運動の必要性）。ありがとうございました。あとは、いかに周知していくかと思えます。
- ★今まで、原発廃炉については、否定的な考え方の私でした。どちらかと言えば再稼働派？原発推進派でした。よって、今回は興味深い話でしたので、出席しました。出席したいと思いつつも、21回目にして初めて出席。話を聞いて考えが少し変化したのも事実です。こういう話を聞く機会や様々な意見が市民レベルで行われる場を広げていく必要があると感じました。福島の状況を水俣の歩んできた道と被っています。福島の人々が、もっと発言（文句ではなく）できる積極的な方向になっていくことを望みます。最後の広田先生の賠償の話は印象的だった。(S.1)
- ★福島が置かれている今日の状況、位置を深く考えるのに大変有益であった。実に鋭く新鮮な問題提起であった。(S.1)
- ★法的課題の現状が、良く理解できました。心より、感謝いたします。(K.F)
- ★廃炉について、双葉郡の人々の意識は微妙な立ち位置ながら、賛成に向かっていると思います。雇用と表裏一体なところもあるのと。(T.H)
- ★大変参考になりました。(H.A)
- ★県民運動していくには、原発立地の人たちとどうつながっていくかがカギになると思いました。(Y.I)
- ★廃炉裁判の含む多面的な役割を思っています。ありがとうございました。(O.S)

~~~~~

【次回予告】第23回 ふくしま復興支援フォーラム

2012年11月13日（火）18時30分～

テーマ：「ふくしまの観光業の現状と課題」

報告者： 渡邊和裕氏（福島市観光コンベンション協会会長）

会場： 福島市 市民会館 501号室（福島市霞町1番25号）

（会場がいつもと異なりますので、間違わないようにお願いします。）

~~~~~

*復興支援に関わる問題、また本フォーラムの運営についてのご意見等がありましたら、事務局までお寄せください。(tkonno67@gmail.com)